

平成28年度 基本評価調書

施策名	多様な人材の就業促進	所管部局	経済部	作成責任者	経済部長 阿部 啓二	施策コード	05 — 16
		照会先	労働政策局雇用労政課労働企画G 011-204-5353 (内26-454)	関係課	経済部労働政策局雇用労政課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)			総合計画の指標		
	I	2 経済・産業	(7)良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保		多様な働き手の就業支援と就業環境の整備			ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定者数、ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数		
	II	3 人・地域	(3)高齢者や障がいのある方々、女性が活躍できる社会づくり		意欲と希望のある高齢者や障がいのある方々の活躍促進			高齢者(65歳以上)の就業率、障がい者の実雇用率(民間企業)		
	III	3 人・地域	(3)高齢者や障がいのある方々、女性が活躍できる社会づくり		社会のあらゆる分野で女性の力が発揮できる環境づくり			女性(25～34歳)の就業率		
	IV									
北海道創生総合戦略	A1121、A3922、A3923、A3931、A3941、A3942、A3943、A3944、A3963		北海道強靱化計画		-	新・北海道ビジョン	C02502、C05401、C05501、C05509、C07401			
特定分野別計画等	第4期北海道雇用創出基本計画									
現状と課題	<p>・本道の雇用情勢は改善しているものの、全国と比較すると有効求人倍率は低く、さらに若者の完全失業率は、他の年齢層と比較して高い水準にある。</p> <p>・新規学卒者においては、就職内定率は全国平均を下回るとともに、就職後3年以内の離職率は全国よりも高い水準にある状況。</p> <p>・若年無業者(ニート)の数は、全国では減少傾向にあるものの、本道では横ばいの状況が継続しており、フリーターは25歳～29歳では減少しているが、30歳～44歳では増加傾向にある。</p> <p>・女性の就業率は全国を下回っており、特に25歳～34歳は、全国との差が最も大きい</p> <p>・65歳以上の方の就業率は、上昇傾向にあるものの、全国平均を下回っている状況にある。</p> <p>・障がいのある方の民間企業における実雇用率は、全国平均を上回っているものの、従業員300人未満の企業平均では、法定雇用率を達成していない状況にある。</p> <p>・本道の季節労働者数は、2014(平成26)年度では約7万3千人と1980(昭和55)年度の30万人をピークに年々減少しているが、依然として雇用者数の3.5%を占めており、その多くは冬期間に就労機会を失うなど不安定な就労環境におかれている。</p>				施策目標	<p>・ニート・フリーターをはじめ、様々な状況におかれた若者、多様なライフサイクルの中で継続就業や復職を希望する女性、働きやすい雇用・就業の機会を求める高齢者や障がいのある方々など、多様な人材の就業促進、職場定着を図るため、カウンセリングや企業説明会などの取組を求人・求職の両面から実施し、雇用機会の拡大とミスマッチの解消を図る。</p> <p>・季節労働者の冬期間における雇用の場の確保や季節労働者の技能向上、事業主の意欲喚起等の取組などにより通年雇用化を促進し、雇用の安定を図る。</p> <p>・高齢者が働きやすい環境づくりを進め、様々な形で地域に貢献し、元気に活躍できる社会づくりに取り組む。</p> <p>・障がいのある方々が、本人の希望や障がい特性などに応じて、いきいきと働くことができるよう、幅広い就労機会の確保に向けた取組を進める。</p>				
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【若年者の就業支援】</p> <p>[道]「若者早期離職防止総合対策プログラム」の推進、ジョブカフェや北海道就業サポートセンターによる支援、地域ごと創造協議会の設置(就職活動応援フェア等の実施) など</p> <p>[国]ハローワークによる支援、各種助成金の交付 など</p> <p>[市町村]各種支援事業の広報 など</p> <p>[民間]人材確保と職場定着の取組促進、インターンシップの受入、産業・企業情報の発信 など</p> <p>【ニート・フリーターの就業支援】</p> <p>[道]ジョブカフェ・ジョブサロンにおける相談支援、地域若者サポートステーションを設置している市への支援</p> <p>[国]地域若者サポートステーションの運営委託 など</p> <p>[市町村]地域若者サポートステーションの運営支援 など</p> <p>[民間]ニート・フリーターの受入体制の構築 など</p> <p>【女性の就業支援】</p> <p>[道]マザーズキャリアカフェにおける相談支援、再就職を希望する子育て女性を受入れる企業における職場環境整備のモデル事業の実施</p> <p>[国]マザーズハローワークにおける就職支援 など</p> <p>[市町村]相談機関や各種支援事業の広報 など</p> <p>[民間]職場環境整備のモデル事業への参加 など</p>				<p>【中高年・高齢者の就業支援】</p> <p>[道]ジョブサロンにおける相談支援、中高年齢の求職者や求職者を受入れる企業を対象としたセミナー、合同企業説明会の開催、シルバー人材センター連合会への支援</p> <p>[国]高齢者雇用確保措置の推進等</p> <p>[市町村]シルバー人材センターへの支援、セミナー、合同企業説明会の広報 など</p> <p>[民間]合同企業説明会への参加 など</p> <p>【障がい者の就業支援】</p> <p>[道]求人要請、就職面接会の開催、障害者就業・生活支援センターの指定・運営</p> <p>[国]障害者雇用促進法に基づく指導、障害者就業・生活支援センターの運営委託、助成金の交付 など</p> <p>[市町村]法制度の周知・啓発、障害者就業・生活支援センターとの連携 など</p> <p>[民間]障がい者の受入体制の構築 など</p> <p>【季節労働者の雇用環境改善】</p> <p>[道]国の通年雇用促進支援事業を受託する協議会への参画及び地域独自の取組への支援など</p> <p>[国]季節労働者の通年雇用に取り組む地域の関係者で構成される協議会へ上記事業を委託</p> <p>[市町村]地元の関係団体等を構成員として協議会を設置し、上記事業を受託し、事業を実施</p> <p>[民間]協議会が実施する「事業主向け通年雇用支援セミナー」への参加 など</p>				施策の予算額	
		H27	179,215							
		H28	173,537							
	H29									

今年度の
主な取組

- ◎ 主要指標に係る取組
- その他の取組

【若年者の就業支援】
◎安易な早期離職防止に向け、「若者早期離職防止総合対策プログラム」を策定し、労働、教育、産業政策が連携し、在学時、就活時、就職後、離職希望時など若者の各ステージにおける取組を地域で実施する。
◎ジョブカフェにおけるカウンセリング・セミナーなど若者の職業観の醸成や産業理解を促進する。
◎国、道、教育庁の連携による合同求人要請や、ジョブカフェ等における合同企業説明会、振興局とハローワークの共催による合同就職面接会の開催など、新規学卒者の就職率向上と地元就職を促進する。
◎ジョブカフェにおける新規学卒未就職者に対する特別相談など、新規学卒未就職者の就職を促進する。
◎地域の企業を知り学ぶ就職活動応援フェアや、食・ものづくり関連産業への若者の理解・就業に向けたカウンセリング・セミナー・職場見学会・合同企業説明会など、就職活動時の企業・産業情報の積極的に発信する。
◎若者の職場定着に向けた若手社員研修会・人事担当者向け研修会や、ジョブカフェにおける在職者カウンセリングなど、就職後の若者の資質向上をサポートする。
◎若者の地域産業への就業促進に向けた、北海道就業サポートセンターにおける企業の人材確保と職場定着の取組を促進するためのアドバイスを行う。
【ニート・フリーターの就業支援】
◎ニートの就業促進のため、平成28年度の地域若者サポートステーションの維持に向けた実績づくり及び地元市の取組を支援する。
【女性の就業支援】
◎札幌市と連携し、子育て女性の再就職支援と受入企業の職場環境改善モデル事業を実施し全道へ発信する。(地方創生交付金事業)
◎子育て女性の就業を支援するマザーズキャリアカフェを運営する。

【中高年・高齢者の就業支援】
◎中高年齢求職者の就業促進のため、ジョブサロンにおけるカウンセリング等を実施するほか、戦略産業雇用創造プロジェクトとして求職者の意識改善セミナー、企業の理解促進セミナー、合同企業説明会を開催し雇用機会を拡大する。
◎シルバー人材センター連合会と連携し、センター事業の広報誌への掲載など、センターの活用を促進する。
【障がい者の就業支援】
◎経済団体等への障がい者雇用の一層の推進に関する要請、雇用促進フェア(就職面接会)の開催、障がい者雇用関係功労者の表彰、障害者就業・生活支援センターの指定業務など、障がい者の就業を促進する。
【季節労働者雇用対策】
◎季節労働者の雇用確保や就職促進などを通じた通年雇用化に取り組んでいる通年雇用促進協議会の組織運営体制の強化を図るなど、国や地域との連携を密にして、季節労働者の通年雇用化を促進する。
◎冬期間の工事量を確保するため、冬期増嵩経費措置事業を実施するとともに、冬期に施工する工事の受注業者に対し、季節労働者の雇用と通年雇用化を要請することなどにより、季節労働者の冬期間の雇用の場の確保と通年雇用化を促進する。
◎季節労働者の通年雇用化に必要な資格取得、技能向上を支援するため、資格取得に要する経費の助成や公共職業訓練の実施などを通じて、季節労働者の通年雇用化を促進する。
◎季節労働者の通年雇用化に取り組んだ事業主を評価するため、道の入札参加資格審査において技術・社会点を加点するほか、建設業の新分野進出・経営多角化を促進するなどの取組を通じて季節労働者の通年雇用化を促進する。
◎季節労働者の就業環境の整備や改善を進める関連制度の周知を図るなど、不安定な就業環境に置かれている季節労働者の雇用と生活の安定を促進する。
◎本道が優位性を有し、今後成長が見込まれる分野や人手不足が顕著となっている分野を中心として、季節労働者の職種転換による通年雇用化を促進する。

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(関連する計画等)			
実 績 と 成 果 等	総合戦略	強靱化	ビジョン
学卒者をはじめとする若者の早期離職防止を目的に今後4年間の総合的な取組方向を示した「若者早期離職防止総合対策プログラム」を策定し、就職活動時において若者が地方の産業や企業を理解する機会の創出や就職後の職場定着に向けた各種研修を実施。	A1121 A3941 A3941 A3942 A3943 A3944		C02502 C05401 C05501 C05509
新規学卒者が地域の産業や企業に対する理解を深め、適切な職業を選択することができるよう、ジョブカフェにおけるカウンセリングや高校などに出向いて就業意識の向上のため職業ガイダンスを実施するとともに、高校生、大学生等を対象とした職場見学ツアーや企業説明会を実施するなどの就職支援を行った。	A1121 A3943 A3944 A3963		C02502 C05501
若者の地域産業への就業促進に向け、平成27年9月より各振興局に若年者の人材確保・職場定着等に関する企業からの相談窓口である北海道就業サポートセンターを設置し、専門家と連携しながら、企業にアドバイスを実施している。	A3941 A3942		C05401 C05509
二ートの就業促進のため、北海道地域若者サポートステーション連絡会議の運営やサポートステーションと関係機関との連絡・調整を実施。	A3942		5509
結婚・出産・育児等の事情により離職後、再就職を希望する女性を対象にセミナーを実施するほか、女性の採用意欲がある企業にモニターとして派遣して女性が働きやすい職場環境を改善し、女性の再就職を支援する取組をモデル的に実施。	A3923		-
平成27年9月よりマザーズキャリアカフェを設置し、子育て女性等の就業にかかるきめ細やかな相談支援を実施している。また、平成27年度は、「若者・女性求職者再チャレンジ・インターンシップ事業」を実施。平成28年度については、子育て女性を対象とした「なでしこ応援・再就職しやすい職場づくりモデル事業」を実施。	A3922 A3923		C07401
中高年求職者のスキルや経験、適正を見極め再就職を促進するため、きめ細やかなカウンセリングや就職支援セミナーを実施。	A3931		-
北海道シルバー人材センターの行う「シルバー人材センター連合事業」に対し、補助金交付。高齢者就業促進パネル展を実施し、定年の引き上げや継続雇用制度の導入などによる安定した雇用の確保や高齢者の多様なニーズに対応した就業機会の確保について、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるため、高齢者雇用の取組やシルバー人材センター事業を紹介するパネル等の展示による啓発を行った。	A3931		
27年度は、経済団体等への障がい者雇用の一層の推進に関する要請(12月～28年2月)、障がい者雇用促進フェア(就職面接会)の開催(10月～11月)、障がい者雇用関係功労者の表彰(11月)などの取組により障がい者雇用の促進し、本道におけるハローワークを通じた障がい者の就職件数は過去最高となった。※本年度も同様のスケジュールで取組を行う。	A3931		
・国と地域が連携して行う通年雇用促進支援事業において、地域協議会が円滑に事業が実施できるよう、国に対して地域の意見を踏まえた要望を行い、事業の改善が図られたところ。			
・冬期間に建設工事を施工する冬期増高経費措置事業や通年雇用化特別対策事業を実施し、冬期就労機会の確保に努めた。 ・市町村に対し単独事業の発注時期の配慮や施設解体工事、除排雪などによる冬期の雇用機会の確保を要請。(H27年10月)			
・季節労働者の通年雇用化に資する資格取得経費の一部を助成 (H27年度資格件数:317件 H28年度資格件数:59件(H28.7月末日現在)) ・高等技術専門学院が民間委託して季節労働者を対象とした職業訓練を実施(H27:4コース入校者49人)			
・季節労働者通年雇用化申告制度により、道の建設工事入札参加資格審査において、10点加点(H27申告実績:8事業者) ・事業主向け新規事業参入・経営多角化セミナーの開催(協議会の雇用確保事業等で実施)			
・出稼ぎ労働者ハンドブックのHP掲載 ・建設業退職金共済制度の普及促進(協議会の事業所訪問等で実施) ・勤労者福祉資金制度の利用促進(協議会の職業相談等で実施)			
・職場体験実習事業(協議会と国との委託事業) これまで就労経験のない職種を体験して職業転換による通年雇用化を目指すもので、協議会が求人募集している事業主等の協力を得て実施した。(H27年通年雇用化数8名)			

(2) その他の取組の成果等

<p>国等提案・ 要望状況</p>	<p>○平成29年度「国の施策及び予算に関する提案・要望」において、次の項目について要望</p> <ul style="list-style-type: none">・若年者のためのワンストップサービスセンターへの支援の拡充・地域若者サポートステーションに対する支援の拡充・女性に配慮したきめ細やかな就職支援の充実・中高年者に対する就業機会を拡大するための支援の充実・シルバー人材センターの運営費補助の拡充と設置基準の緩和・障がい者の雇用を促進する制度の一層の充実(ジョブコーチ制度など) <p>○国の通年雇用促進支援事業を受託する協議会が円滑に事業を推進できるよう、道から国(北海道労働局)へ「平成28年度通年雇用促進支援事業の実施に係る要望」を提出(H27.12)</p> <p>・道からの要望内容</p> <ol style="list-style-type: none">①ハローワークから協議会への季節労働者情報をこれまで以上提供できるよう配慮すること②協議会の雇用促進支援員及び職場体験実習支援員の超過勤務手当を委託対象経費の対象とすること。	<p>施策に 関する 道民ニーズ</p>	<p>○多様な人材の就職促進に関して、関係機関が参加する会議(H27.11.19 北海道地域若者サポートステーション連各会議等)への参加や意見交換会の開催により有用な意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。</p> <p>○これまでの事業成果である、季節労働者の通年雇用化数は順調に推移しており、国や地域と連携した季節労働者の通年雇用化の取組みは、一定のニーズがあるものと考えられる。</p>
-----------------------	---	------------------------------	---

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		
		施策コード	関係部・関係課	
-	保健福祉部と連携し、障害者就業・生活支援センターの運営を行うほか、求人要請や関係機関との連携会議を開催	N0411	保健福祉部障がい者保健福祉課	・経済団体等への求人要請や全道11カ所の障害者就業・生活支援センターの運営を連携して継続しており、センターの27年度登録者数は、前年度に比べ4.4%増加した。
Ⅲ	女性の多様な選択の中で生じる子育てや介護、起業、就業といった幅広い課題に対応する一元的な相談対応について、子育てをしながら働きたい女性などを対象とした相談機関であるマザーズ・キャリアカフェと連携して推進する。	N0312	環境生活部道民生活課	・女性の活躍支援センターにおける「母子で北海道へ移住し、就職先を探している」、「子どもの大学進学を機に就職を考えている」などの就職に関する相談に対して、女性の職業カウンセリング等を実施する専門相談窓口としてマザーズ・キャリアカフェを紹介するなどの連携を行った。

平成28年度 基本評価調書

施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	05 — 16
-----	------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--	----------------------------

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか					
[指標の説明] ジョブカフェ北海道に登録し、就職支援サービスを受けて就職が内定した人数の累計	ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定者数(人)	基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・進捗率については、H28年からの累計で計算をするため、現在において算定しない。 ・H27年度の目標値は、翌年度からスタートする計画年度における1年当たりの目標値である6380人とした。 ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。				
		基準値	6,362	目標値	6,380	最終目標値	H28からの累計 63,800人						年度	H27	H28	進捗率
		根拠計画		増減方向		達成率の算式							目標値	6,380	6,380	63,800
		北海道総合戦略		増加		(実績値)/(目標値)							実績値	6,303	—	—
													達成率	98.8%	—	—
[指標の説明] ジョブサロン北海道に登録し、就職支援サービスを経て就職した人数の累計	ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数(人)	基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・進捗率については、H28年からの累計で計算をするため、現在において算定しない。 ・H27年度の目標値は、翌年度からスタートする計画年度における1年当たりの目標値である540人とした。 ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。				
		基準値	522	目標値	540	最終目標値	H28からの累計 5,400人						年度	H27	H28	進捗率
		根拠計画		増減方向		達成率の算式							目標値	540	540	5,400
		北海道総合戦略		増加		(実績値)/(目標値)							実績値	524	—	—
													達成率	97.0%	—	—
[指標の説明] 65歳以上の高齢者のうち、仕事に就いている人の割合	高齢者(65歳以上)の就業率(%) <small>(暦年)</small>	基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h31	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・最新の実績は、平成27年度の数値 ・北海道労働局などの関係機関と連携を図りながら、高齢者の雇用安定に取り組んだことにより、高齢者の就業率は目標値を上回っている。 ※全国平均は毎年度変化するため進捗率の記載は困難				
		基準値	16.5	目標値	18.3	最終目標値	h31までに全国平均値以上						年度	H27	H28	進捗率
		根拠計画		増減方向		達成率の算式							目標値	17.4	18.3	—
		北海道総合計画		増加		実績値 目標値(全国平均値) × 100							実績値	17.6	—	—
													達成率	101.2%	—	—
[指標の説明] 「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき障がい者の雇用義務がある民間企業における障がい者の平均実雇用率	障がい者の実雇用率(民間企業) <small>(%)<small>(暦年)</small></small>	基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h31	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・最新の数値は、27年6月1日現在 ・北海道労働局をはじめ関係機関と連携した雇用促進などの取組により、企業における障がい者雇用が促進され、実雇用率は改善している。				
		基準値	1.90	目標値	2.0	最終目標値	h31までに法定雇用率(2.0%)以上						年度	H27	H28	進捗率
		根拠計画		増減方向		達成率の算式							目標値	1.95	2.0	2.0
		北海道総合計画		増加		(実績値)-(基準値) (目標値)-(基準値) × 100							実績値	1.95	—	1.95
													達成率	100.0%	—	97.5%

主⑤	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h31					
女性(25～34歳)の就業率(%) (暦年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h31	達成度合	B	評価年度	H27	25～34歳の女性の就業率は増加しており、事業効果が現れている。 ※全国平均は毎年度変化するため進捗率の記載は困難
		基準値	66.8	目標値	全国平均値	最終目標値	全国平均値以上	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 25～34歳の女性のうち、仕事に就いている人の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	72.1	—	—			
	北海道総合計画	増加		実績値/全国平均値×100		実績値	70.6	—	—			
						達成率	97.9	—	—			

関①	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
若者の就業率(%)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	ジョブカフェ北海道や戦略産業雇用創造プロジェクトにおける合同企業説明会などの取組により、若者の就業率は増加しており、事業効果が現れている。
		基準値	72.8	目標値	74.1	最終目標値	76.0	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 20歳～34歳における、人口に対する就業者数の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	73.4	74.1	76.0			
	北海道創生総合戦略	増加		((実績値)-(基準値))/((目標値)-(基準値))×100		実績値	75.9	—	75.9			
						達成率	516.7%	—	99.9%			

関②	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
新規学卒者の道内就職割合(%)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	D	評価年度	H27	昨今の雇用情勢の改善により、企業情報が多く発信も早い道外の大手企業等へ新規学卒者が流れ、道内就職割合が低下したが、北海道労働局等との連携による就職面接会の実施などの取組により、基準値とほぼ同程度の実績値となった。
		基準値	73.8	目標値	76.3	最終目標値	80.0	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校の新規学校卒業就職者の道内への就職割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	75.0	76.3	80.0%			
	北海道創生総合戦略	増加		((実績値)-(基準値))/((目標値)-(基準値))×100		実績値	73.0	—	73.0%			
						達成率	-66.7%	—	91.3%			

—	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H28	年度	H28	最終年度	H31					
季節労働者の通年雇用化数(人)		基準年度	H28	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H26	「季節労働者対策に関する取組方針(第4次)」の目標値(H25～27年度累計1.2万人)と実績値より達成度合を算出。
		基準値	4,000	目標値	4,000	最終目標値	16,000	年度	H26	H27	進捗率	
[指標の説明] 季節労働者の通年雇用化を表す目標(H28～31年度累計1.6万人)として設定 [H27年実績は11月以降取りまとめ予定]	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	4,000	4,000	16,000.0			
	季節労働者対策に関する取組方針(第5次)	増加		(実績値/目標値)×100		実績値	5,774	—	5,774.0			
						達成率	144.4%	—	36.1%			

● 本施策に成果指標を設定できない理由								判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	—	結果
								100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可		
主要指標								2	3					
関連指標								2			1		課題あり	

<様式5>

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標		<p><ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定数【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><高齢者(65歳以上)の就業率【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><障がい者の実雇用率(民間企業)【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係部をはじめ、国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><女性(25～34歳)就業率【B】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 	<p><施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者、女性、高齢者等の就業促進に関して効果的な取組を推進していることが認められる。 ・協議会の組織運営体制の強化と方策を講じるために国と共催で実施した「通年雇用促進事業説明会」や冬期に施工する工事の受注業者への季節労働者の雇用と通年雇用化要請及び季節労働者の通年雇用化に必要な資格取得に要した経費の一部助成に関して効果的な取組を推進していることが認められる。 <p><施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者のためのワンストップサービスセンターへの支援拡充や女性配慮したきめ細やかな就職支援の充実等に向け、必要な要望を国に対して実施している。 ・国の通年雇用促進支援事業を受託する協議会が円滑に事業を推進できるよう、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。 <p><道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の就職促進に向け、関係機関が参加する会議への参加や意見交換会の開催により有用な意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。 <p><施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性や障がい者をはじめとした多様な人材の就業促進に向け、連携会議の開催や各専門相談機関への相互紹介など関係部と連携した成果が確認できる。 	＋評価
関連指標	課題あり	<p><若者の就業率【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の施策はもちろん国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><新規学卒者の道内就職割合【D】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今の雇用情勢の改善により、企業情報が多く発信も早い道外の大手企業等へ新規学卒者が流れ、道内就職割合が低下したが、国など関係機関と連携した取組の効果が現れている。 <p><季節労働者の通年雇用化数(人)【A】></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会が実施する地域自らの取組への支援や季節労働者への通年雇用化に資する資格取得に対する支援等により、季節労働者の通年雇用化が促進している。 		

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
①	地方における安定した雇用の創出のため、地域の産業や強みを活かして、良質な雇用環境の創造に向けて、今後も引き続き新規学卒者が地域の産業や企業に対する理解を深め、適切な職業を選択することができるよう、ジョブカフェにおけるカウンセリングや「じもと×しごと発見フェア」、学卒未就職者等を対象とした合同企業説明会などを実施する。		A3943		
②	若者の地域産業への就業促進と道内中小企業の円滑かつ安定的な人材確保を図るため、平成27年9月より各振興局に若年者の人材確保・職場定着等に関する企業からの相談窓口である北海道就業サポートセンターを設置した。今後も引き続き専門家と連携しながら、企業にアドバイスを実施する。		A3941		
③	人口減少社会において、本道における女性の出生率を上げるために、平成27年9月よりマザーズキャリアカフェを設置し、子育て女性等の就業にかかるきめ細やかな相談支援を実施している。今後も引き続き、一人ひとりのニーズに応じた相談支援を実施する。		A3922 A3923		
④	中高年齢者の就業率は全国に比べ低く、完全失業率は全国に比べ高い状況にあるため、今後も引き続き即戦力と期待される中高年求職者を対象に企業向けのセミナーの実施や合同企業説明会などマッチングの機会を提供するほか、未就職者に対するフォローアップを行なうとともに、道内シルバー人材センターの指導調整機関である(公社)北海道シルバー人材センター連合会に対して補助する。		A3931		
⑤	一徳総活躍社会の実現には、障がい者が就労を通じて社会参加し職業的に自立することや、多様な働き手の一翼を担うことが重要なことから、引き続き関係機関と連携し、就職面接会や求人要請など雇用促進の取組を展開する。		A3931		
⑥	季節労働者の通年雇用化数数は、順調に最終目標値を達成できる見込みであり、今後も季節労働者の通年雇用化を促進する。				

平成28年度 基本評価調書

施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	05 - 16
-----	------------	-------	---------

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策目標の達成状況（目標達成に向けてさらなる取組が必要）】 目標達成に遅れが見られる「新規学卒者の道内就業」の促進に向け、若者の地域の産業・企業への理解促進を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	多様な人材の就業促進(再掲)	施策コード	05-16
-----	----------------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果(知事による評価)

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05100900	雇用危機対策推進費		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
05101000	季節労働者雇用対策費(季節労働者通年雇用促進地域対策事業費)		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
05101100	北海道求職者就職支援センター事業費				○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	
05101200	北海道就業サポートセンター事業				○	継続(縮小)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	
05101300	高年齢者労働能力活用事業費補助金		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05102099	(地方創成対策推進費)なでしこ応援雇用機会拡大・職場環境整備促進事業				○	終了	終了	終了	終了		終了	
05102199	(地方創成対策推進費)地域若者就業・定着支援事業				○	—	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
①	<p><新たな取組等> 地域における安定した雇用の創出のため、地域の産業や強みを活かして、良質な雇用環境の創造に向けて、今後も引き続き新規学卒者が地域の産業や企業に対する理解を深め、適切な職業を選択することができるよう、ジョブカフェにおけるカウンセリングやインターンシップ合同企業説明会の開催、学卒未就職者等を対象とした合同企業説明会などを実施するとともに、H28年度から開催している「じもと×しごと発見フェア」の参加企業・高校生等の拡大を図る。</p>
②	<p><新たな取組等> 若者の地域産業への就業促進と道内中小企業の円滑かつ安定的な人材確保を図るため、今後も引き続き各振興局に若年者の人材確保・職場定着等に関する企業からの相談窓口である北海道就業サポートセンターを設置・運営するとともに、専門家や「ほっかいどう働き方改革支援センター」と連携しながら、企業にアドバイスを実施する。</p>
③	<p><新たな取組等> 人口減少社会において、本道における出生率を上げるために、平成27年9月よりマザーズキャリアカフェを設置し、マザーズ・コンシェルジュを配置して子育て女性等の就業にかかるきめ細やかな相談支援を実施している。さらに平成29年4月にジョブカフェの地方拠点5カ所にマザーズ・キャリアカフェを開設し、一人ひとりのニーズに応じた相談支援を実施する。</p>
④	<p><新たな取組等> 中高年の就業率は全国に比べ低く、完全失業率は全国に比べ高い状況にあるため、今後も引き続き即戦力と期待される中高年求職者に向けた意識改善セミナーや企業向け中高年者の受入促進セミナーの実施、合同企業説明会など食・ものづくり関連産業への就業に向けたマッチングの機会を提供するほか、未就職者に対するフォローアップを行うとともに、道内シルバー人材センターの指導調整機関である(公社)北海道シルバー人材センター連合会に対して補助する。</p>
⑤	<p><新たな取組等> 一億総活躍社会の実現には、障がい者が就労を通じて社会参加し職業的に自立することや、多様な働き手の一翼を担うことが重要なことから、引き続き関係機関と連携し、就職面接会や求人要請を行うとともに、職業訓練や職場適応訓練による障がい者の適性に対応した知識・技能の習得を支援するなど雇用促進の取組を展開する。</p>
⑥	<p><新たな取組等> 引き続き、季節労働者の技能向上の取組や事業主に対する通年雇用化への意欲喚起など、国や各地域協議会などと連携を図りながら、季節労働者の通年雇用化対策に取り組んで行く。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】	<p>地域における安定した雇用の創出のため、地域の産業や強みを活かして、良質な雇用環境の創造に向けて、今後も引き続き新規学卒者が地域の産業や企業に対する理解を深め、適切な職業を選択することができるよう、ジョブカフェにおけるカウンセリングやインターンシップ合同企業説明会の開催、学卒未就職者等を対象とした合同企業説明会などを実施するとともに、今年度から開催している「じもと×しごと発見フェア」の参加企業・高校生等の拡大を図る。</p> <p>若者の地域産業への就業促進と道内中小企業の円滑かつ安定的な人材確保を図るため、今後も引き続き各振興局に若年者の人材確保・職場定着等に関する企業からの相談窓口である北海道就業サポートセンターを設置・運営するとともに、専門家や「ほっかいどう働き方改革支援センター」と連携しながら、企業にアドバイスを実施する。</p>		

平成28年度 基本評価調書

施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	05 — 16
-----	------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	3 事業	事業	1 事業	2 事業	事業	事業	1 事業	7 事業
反映結果	事業	事業	4 事業	2 事業	事業	事業	1 事業	7 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
6 事業